

特集

訴訟社会をどう生き抜く
——「医療の不確実性」の視点から

- ◇ ピープル 1
「お寺の出前」、致します！
——医療と福祉と宗教の連携をめざして
浄土真宗本願寺派 観念寺住職 宮本 直樹
- ◇ なにわ医見 2
「二者択一社会」に立ち向かう
(拓)

●論考

- リスク社会と安全願望 ④
京都大学医学研究科 准教授 美馬 達哉
- 医療の不確実性と医療訴訟 ⑦
弁護士・開業医 田邊 昇
- 「不確実なもの」であるからこそ「法則性」を探る努力が必要 ⑭
読売新聞大阪本社科学部 次長 原 昌平
- 闘病中の患者が医療に対して望んでいること ⑰
全国膠原病友の会大阪支部 運営委員 大黒 宏司
- 患者との認識ギャップをどう埋めるか
——医療メディエーションの考え方 ⑳
早稲田大学法文学部 教授 和田 仁孝
- 医療の不確実性時代におけるコミュニケーション——EBMの人間観批判 ㉒
大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 教授 池田 光穂
- くすりの「不確実性・混沌」をどう扱うか
——医薬品情報が氾濫するなかで ㉓
NPO 法人医薬ビジネスセンター(薬のチェック) 浜 六郎
- 巨大訴訟社会の光と影
——米国における医療過誤訴訟を事例に ㉔
京都橋大学現代ビジネス学部現代マネジメント学科 准教授 高山 一夫
- 患者さまとモンスター ㉕
フリーライター 服部 素子

●佐藤一夫先生を悼む

- 開業医美学の実践者
——佐藤一夫先生を悼む—— ㉖
本誌顧問 野村 拓
- 医師たちの余生——故 佐藤一夫先生と理想の医師リタイアを求めて—— ㉗
城東区 守田 由雄

表紙のことば

「花菖蒲」

花菖蒲園では色とりどりの菖蒲の花が蕾から満開まで咲き誇っていました。白い花菖蒲の綺麗さにシャッターを切りました。
(平野区・吉田一雄)



カメラ：キャノン EOS 7s
レンズ：28～300mm
フィルム：フジプロビア 100F
場所：京都府立植物園

- ◆ 詰碁・詰将棋 13
 関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段

- ◆ なにわ友あれ 41
 花とおじさん—わが愛しのマンデビラ
 豊中市 水野 俊樹

- ◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」⑤ 42
 相手の打った後にご馳走なし
 関西棋院九段 滝口 政季

- ◆ なにわの伝説 184 (なにわの郷土史 330) 44
 お地藏さん物語③
 地域史研究者 三善 貞司

- ◆ わたしの文化評「ドキュメンタリーを觀よう」② 46
 半世紀前に老人医療費無料化を実現した村の記録—「いのちの作法」
 和泉市 堀 忠

- ◆ 連載 心に残る診療録 ② 48
 お腹の中の円盤
 城東区 守田 由雄

- ◆ 連載時代小説・元禄全麻伝⑭ 59
 第八章 首里城の御薬草
 1 空手の真髓
 2 侍医頭玄周の詰問
 医師・作家 篠田 達明

INFORMATION

原稿募集	40
6/7月の予定	41
読者ファクス直送便	49
09年7月号予告	60
編集後記	60

今月の広告

ご協力ありがとうございました

文化部だより	表Ⅱ
(株)ニチレク	31
(株)メディカル・ネットワーク	34
(株)牧歌舎	50
保険医年金	表Ⅲ
(株)メディコムコミュニケーションズ	表Ⅳ

内科医も知っておきたい眼科の知識